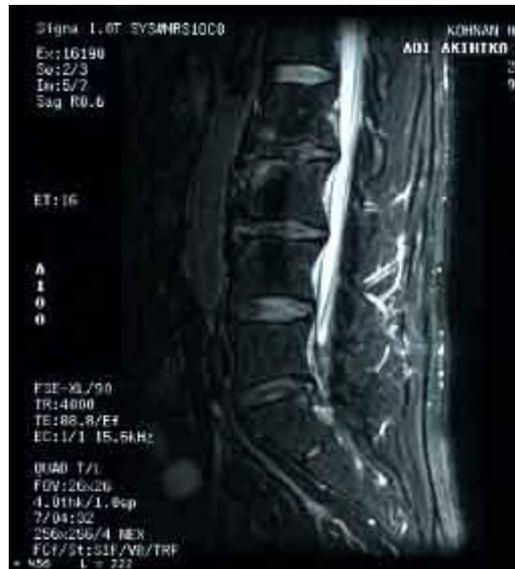


椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアは頻度も高く、急性腰痛症の代表的なものです。急性期の疼痛の激しい場合はまず2週間程度の安静を要します。場合によっては硬膜外ブロック治療を行います。コルセットの着用も行いますが、慢性期に移行できれば腰椎牽引、運動療法によるストレッチングを指導します。疼痛が強く、自宅安静のとれないヒトは入院治療の適応となります。



▲腰椎々間板ヘルニア像